

新聞感想文コンクール

宮脇、兒玉さん (宮崎西高 付属中) 奨励賞

家族や友人と新聞記事を読んで出し合った意見や感想を募る「第12回いっしょに読もう!新聞コンクール」(日本新聞協会主催)



宮脇 寧々さん



兒玉 栞苗さん

で、宮崎市・宮崎西高付属中3年の宮脇寧々さん(14)と兒玉栞苗さん(14)が奨励賞(全国120編)に選ばれた。

将来、障害児支援に携わりたいという宮脇さんは、「子どもの遊び場づくり」に関する本紙記事を母と読み、「遊び場は親同士が交流する場にもなり、障害者理解の深まりにもつながる」と強調した。

兒玉さんは、地方で都市部の人材活用が進むことを紹介した記事に着目。国内ではまだデジタル化が遅れている現状を父に教えてもらい、「今の状況を改善

すれば)有能な人材が地方でより活用しやすくなり、地域間格差がなくなっていくのでは」と期待をつづつた。

コンクールには全国の小中高校生から6万4513編の応募があった。本県の2人が受けた奨励賞は、個人では最優秀(3編)、優

秀賞(30編)に次ぐ賞。

また、日常的な新聞活用やNIE(教育に新聞を)への意欲が評価される「学校奨励賞」(全国197校)を、同市・宮崎西高付属中(川越淳一校長、240人)と日之影町・日之影小(川野敏広校長、30人)が受賞した。(宝徳光彬)